



平山学長新春あいさつ 2面

新たな輝かしい歴史を刻む年に

JABEE修了同窓生らが交流会 3面

新潟市の交流事業で中国・济南市に初の派遣 4面

平成28年度一般入試日程の概要とポイント 8面

編集部では表紙を飾る写真を募集しています! 投稿方法は nuischannel@nouis.ac.jp までお問い合わせください。

CONTENTS

2・3面

平山学長が新潟大会実行委員長に
スペシャルオリンピックス冬季競技
沖縄をテーマに国際理解講演会

4・5面

教員海外研修便り
ズームアップ研究室
新潟市議会報告でグループ学習
教員の活動

6・7面

福祉・介護・健康フェアの展示に人気
青少年のための科学の祭典に出演
企業懇談会で263社と情報交換
完成稿に向け卒論中間発表会

紅翔祭・活気に満ちたキャンパス

湧源・編集後記に代えて

8面

異文化塾「イスラーム世界を読み解く」
卒業生の便り



NUISホームページ
<https://www.nouis.ac.jp>
(スマートフォン対応)



Facebookページ
<https://www.facebook.com/nuis.face>



LINE@
[@nouis-line3111](https://line.me/ti/p/@nouis-line3111)

LINEの「友だち追加」から「ID検索」で登録

「大学は誰のためにーあらためて考え方よー」

え、本学の
魅力をいつ
そう高め、
学生や企業



学長 平山 征夫

よりも「イスラム国」によるテロ多発という極めて対応の困難かつ由々しい事件がありました。その背景についてはさまざまな指摘がされていましたが、差別と貧困が大きな要因であることは否定できません。国際理解を学び研究している本学としても、この問題を強い関心を持って見守ってきた年でした。

20周年を期して実施した2学部制などの改革が2年目を迎え、改革の意義をいつそう發揮し定着さ

など地域により必要とされる存在を目指したいと思います。それは「大学は誰のため、何のためにあるのか」という存在意義の原点に帰るとともに、「高大接続」に続いて大学で学び、卒業して社会人となる「大社接続」にももつと役割を果たせる大学を目指すべきかと思っています。

「地域が必要とする人材を地域で育てる」と同時に「地域に役立つ若い若者に活躍の場を提供する」にはどうしたらよいかが求められていると思います。安倍政権が打ち出した「一億総活躍社会の実現」がどんな方向を目指すものか分かりませんが、「地方消

さらなる改革で魅力を高め 地域に必要とされる存在に

学生諸君、教職員、ご父母の皆さん明けましておめでとうございます。新しい年をいかがお迎えでしょうか。皆さまにとつて本年がより良い年になりますよう心より祈念いたします。

本学にとりましても新たな輝かしい歴史を付け加える年になりますよう願っております。どうぞ本年もよろしくお願いいたします。

昨年は、経済的には世界・日本とも緩やかな回復基調で推移しましたが、政治的にはTPP交渉の大筋合意、安全保障体制改革など大きな出来事がありましたが、何

よりも「イスラム国」によるテロ多発という極めて対応の困難かつ由々しい事件がありました。その背景についてはさまざまな指摘がされていましたが、差別と貧困が大きな要因であることは否定できません。国際理解を学び研究している本学としても、この問題を強い関心を持って見守ってきた年でした。

20周年を期して実施した2学部制などの改革が2年目を迎え、改革の意義をいつそう發揮し定着さ

など地域により必要とされる存在を目指したいと思います。それは「大学は誰のため、何のためにあるのか」という存在意義の原点に帰るとともに、「高大接続」に続いて大学で学び、卒業して社会人となる「大社接続」にももつと役割を果たせる大学を目指すべきかと思っています。

「地域が必要とする人材を地域で育てる」と同時に「地域に役立つ若い若者に活躍の場を提供する」にはどうしたらよいかが求められていると思います。安倍政権が打ち出した「一億総活躍社会の実現」がどんな方向を目指すものか分かりませんが、「地方消

「スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム新潟大会」

私は現在、表題の冬季大会の実行委員長を務めています。2016年2月12~14日の3日間、新潟市と南魚沼市で開催されます知的障害者の全国スポーツ大会です。

身体障害者のパラリンピックスは誰でも知っていますが、知的障害者のスポーツの祭典スペシャルオリンピックス(SO)はあまり知られておらず、苦戦しながら多くの市民・企業等の協力を得て目下大会開催に向けて最後の準備中です。

新潟でこの大会を開催しようと決意しましたのは、新潟県のSOの会長として知的障害者と健常者の共生社会実現への理解

を深めていただくには、大会開催が一番と考えたからです。前回は3.11の翌年、福島があの被災の中から立ち上がって開催されました。それにも刺激され、われわれは県民の皆さんにアスリートの奮闘ぶりを見ていただくだけではなく、一緒にボランティア活動に参加していただき(これを私たちはMittoと呼んでいます)、共生体験を通じて知

的障害者の純粋な人間性、優しさに触れていただきたいと願っているからです。

どうか大会を見においでください。その前に募金・ふるさと納税などでの支援にもご参加ください。力いっぱい、ひたむきにプレーする彼らの姿は感動と、何ともいえない温かい風を送ってくれるでしょう。

【大会概要】 1962年に故ケネディ大統領の妹ユニス・ケネディ・シュライバー夫人が、自宅の庭を開放して開いたディ・キャンプがスペシャルオリンピックス(SO)の始まり。オリンピックと同様に4年ごとに夏季・冬季の世界大会を開催しています。

新潟大会は新潟市の朱鷺メッセ展示ホールと新潟アシヒアレックスアイスアリーナ、南魚沼市の五日町スキー場の3会場で開催。2017年オース

トリアで開催される世界大会の日本選手団選考を兼ねている。実施競技はアルペンスキー、スノーボード、クロスカントリースキー、スノーシューイング、ショートトラックスピードスケート、フィギュアスケート、フロアホッケーの7種目。約700人が参加する。SOでは、活動に参加する知的障害者をアスリートと呼び、健康や体力増強、スポーツスキルの向上だけでなく多くの人々と交流し、社会性を育むことを目的としている。

共生社会実現へ理解深める

平山学長が大会実行委員長

日本技術者教育認定機構（JABEE）による情報システム技術プログラムがスタートし、今年で10年目を迎えました。JABEEの認定制度は、高等教育機関で行われる教育活動の品質が満足すべきレベルにあることを審査・公表するもので、JABEE修了生は卒業後、修習技術者として継続的に研さんを積むことが期待されています。そこで本学では、JABEE修了生や社会で活躍している卒業生を支援すべく、昨年より勉強会・交流会を実施してきました。

東京地区(7/4)



新潟地区(10/31)

習を行いました。さらに特別講義として、日本技術士会情報工学部会幹事の西原浩一技術士（情報部門）から「技術者にとっての継続学習の必要性－体験報告－」と題し、自らの体験をふまえ、実務の中でいかに継続して勉強していくことが大事であるかをご講演していただきました。

社会で活躍している卒業生を支援

実施しました。特別講義は「『良い仕事』を目指す技術者倫理」と題し、有限会社・佐藤R&D代表取締役、一般社団法人技術士PLセンター代表理事の佐藤国仁技術士から、企業での実務経験や大学（院）等での技術者倫理に関する教授経験をふまえたご講演をいただきました。あらためて良い仕事について考える機会となつたことと想いました。

また、初めての試みとして、10月11・12日に開催された大

学祭（紅翔祭）にJABEE委員会としてJABEE説明ブースを設置したところ、多数のJABEE修了生や技術士資格に関心のある卒業生に立ち寄っていました。日ごろの職場での活躍状況や大学への要望などをうかがうことで、貴重な機会となりました。

今後も、交流会や紅翔祭のJABEE説明ブースなどを同窓の仲間との情報交換の場として、また

今年度の国際理解講演会を12月6日、沖縄在住のアメリカ人国際政治学者ダグラス・ラ

ミス氏（元津田塾大学教授）をお招きし、本学新潟中

央キャンパス9階講堂で開催しました。

ラミス氏は「終戦70年『要石』としての沖縄」と題し

て講演し、新聞の世論調査から、ヤ

マトの人々は日本国憲法第9条に賛成しながら、日米安全保障条約も必要であると考えて

いるとして、その

いでのいるのが沖縄という「要石」であると述べました。

日米安全保障条約に反対する見解も、沖縄に米軍基地が集中していることを放置し、ヤマトに移設するの

ことなどを述べました。ヤマトは「危ない」と考

えるなら、沖縄の世論を無視しているのだと合わせて述べました。ヤマ

トの人々の「植民地主義」を鋭く批

判するラミス氏の言葉は、一般市民にとても分かりやすく、それだけに非常に苦い提言でした。

講演後、フロアから予定された時間が過ぎるくらいに多くの質問が出され、ラミス氏はそれらについていねいに答えてくださいました。当日は天気も良く、盛況のうちに講演会が終りました。当日は天気も良く、盛況のうちに講演会が終りました。当日は天気も良く、盛況のうちに講演会が終りました。当日は天

気も良く、盛況のうちに講演会が終りました。当日は天

気も良く、盛況のうちに講演会が

相互理解を深めた中国・濟南での10カ月

新潟市の交流事業で初めての派遣

2014年9月～2015年7月の約10カ月

間、中国の山東省濟南市の濟南大学に留学してきました。この留学は新潟市と濟南市の交流活動の一環で、その第一弾として派遣されました。私は私にとつて2度目の留学で、語学力の向上と中國文化を知ることが主な目的でした。

情報文化学科4年 濵川 奈那子



濱川さんは右から3人目

文化の相互理解を深めました。長期休みには中国へ行きました。南京やウイグル自治区など15の都市へ旅行したりしました。ボランティア活動にも参加し、毎日が充実していました。

私は留学を通してますます中國が好きになりました。中国人は気さくに話しかけてくれる

ボランティア活動にも参加

の友人の家にホームステイしたり、南京やウイグル自治区など15の都市へ旅行したりしました。ボランティア活動にも参加し、毎日が充実していました。私は留学を通してますます中國が好きになりました。中国人は気さくに話しかけてくれる

し、とても親切です。バースにお年寄りがいると絶対に席を譲ります。日本人だと言うと、「日本人は礼儀正しい」と笑顔で言ってくれるおじさんもいました。百聞は一見にしかず、実際に見てみないと分からぬことがたくさんあることを実感しました。

上西園 武良(情報システム学科・教授)

臼井 陽一郎(国際文化学科・教授)

・(2015年10月30日～11月1日)国際政治学会2015年度研究大会部会5「ヨーロッパにおけるガバナンスの現在」および「国際統合」分科会に討論者として参加(仙台国際センター)

神長 英輔(国際文化学科・准教授)

・(2015年10月3日)「露流し網禁止:領土問題と漁業、切り離せ」『毎日新聞』(朝刊・北海道版) インタビュー記事
・(2015年8月7日) ICCEES IX World Congress (第9回国際中欧・東欧研究協議会世界大会)のパネル「Catastrophe, Trauma and International Cooperation」で進行役および討論者を担当(神田外語大学)
・(2015年11月)「書きたいテーマ・出したい本 歴史的事件としての『うたごえ運動』」『出版ニュース』2015年11月号、46ページ。

上西園 武良(情報システム学科・教授)

・(2015年10月29日～10月30日)燕三条ものづくりメッセへの出展(研究事例の展示) (燕三条地場産業振興センター)

小林 満男(情報システム学科・教授)

・(2015年10月20日)「砂丘に学ぶ」(赤塚中学校・赤塚地区青少年育成協議会・西地区公民館主催) (赤塚中学校)

佐藤 泰子(国際文化学科・准教授)

・(2015年10月24日)新潟市シティプロモーション事業 英語ガイド 外国人留学生と本学学生らと岩室温泉まちあるき(新潟市岩室観光施設いわむろや)

山下 功(情報システム学科・准教授)

・(2015年5月15日～5月21日)「新潟市財務会計システム再構築基本計画策定業務」の学識経験者による意見聴取

・(2015年8月4日)株式会社ICSパートナーズとの管理会計に関する研究協力

【訂正・おわび】

前(68)号の「新任教員紹介」山田裕史講師(国際文化学科)の博士(地域研究)取得は2011年9月でした。

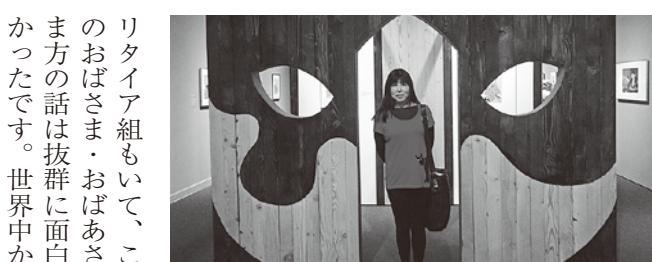


私の海外研修は、研究する作家の主著を翻訳しながら、半年をパリで過ごすという、研究者冥利に尽きるものでした。この二つの都市を選んだのも作家と縁の深い土地だからで、どちらで、週末はゆかりの地だかねるの地を選びました。

研究作家ゆかりの地を逍遙

などして過ごしました。パリで滞在した国際大学都市は、第一次世界大戦の反省のもとに造られたという広大な施設で、世界中から学生・研究者が集まっています。ニューヨークの住宅(レジデンス)の性のためたくさんありました。いまは学生が大半ですが、なかには30年以上住んでいるといふ

パリ・NYで実り豊かな時間



国際文化学科・教授 矢口 裕子

らやつてきて、さまざまなものドラマを生きた彼らの物語は、小説家ならきっと中編集に紡いだことでしょう。作家の言葉を翻訳しながら、作家が生きた空間を時代を隔てて生き、逍遙することは、わが身の内に作家の生を翻訳しているよう

上西園 武良(情報システム学科・教授)

臼井 陽一郎(国際文化学科・教授)

・(2015年10月30日～11月1日)国際政治学会2015年度研究大会部会5「ヨーロッパにおけるガバナンスの現在」および「国際統合」分科会に討論者として参加(仙台国際センター)

神長 英輔(国際文化学科・准教授)

・(2015年10月3日)「露流し網禁止:領土問題と漁業、切り離せ」『毎日新聞』(朝刊・北海道版) インタビュー記事
・(2015年8月7日) ICCEES IX World Congress (第9回国際中欧・東欧研究協議会世界大会)のパネル「Catastrophe, Trauma and International Cooperation」で進行役および討論者を担当(神田外語大学)

・(2015年11月)「書きたいテーマ・出したい本 歴史的事件としての『うたごえ運動』」『出版ニュース』2015年11月号、46ページ。

上西園 武良(情報システム学科・教授)

・(2015年10月29日～10月30日)燕三条ものづくりメッセへの出展(研究事例の展示) (燕三条地場産業振興センター)

小林 満男(情報システム学科・教授)

・(2015年10月20日)「砂丘に学ぶ」(赤塚中学校・赤塚地区青少年育成協議会・西地区公民館主催) (赤塚中学校)

佐藤 泰子(国際文化学科・准教授)

・(2015年10月24日)新潟市シティプロモーション事業 英語ガイド 外国人留学生と本学学生らと岩室温泉まちあるき(新潟市岩室観光施設いわむろや)

山下 功(情報システム学科・准教授)

・(2015年5月15日～5月21日)「新潟市財務会計システム再構築基本計画策定業務」の学識経験者による意見聴取

・(2015年8月4日)株式会社ICSパートナーズとの管理会計に関する研究協力

3)委員・社会的活動・記事・その他

安藤 潤(国際文化学科・准教授)

・(2015年11月8日)日本経済政策学会第14回国際会議討論者(報告者Shio Ando, "A Study on



人々の行動や考え方の謎を解明しています。今年の4年生は「クーポン券を不便を感じている人にもっと使つてもらえる工夫」「アルビレックス新潟の試合を見にスタジアムに足を運んでもらうには、どうしたらいいか」「お金や単位というご褒美(外発的動機)ではなく、勉強の面白さ(内発的動機)でモチベーションを上げることができるのか」「どのような練習方法でバドミントンが上達するか(複数の地域のクラブで上達を計測)」「赤目のキャラクターはどのような印象を与えるか」「顔のパーツ・配置が第一印象に与える影響」「性格は車間距離に影響を与えるか」「夜遅くまで起きているのは、昼間、生活が充実していないからか」「どのようなポスターが注目されるか(文字と絵に着目する人々の相違を解明)」などのテーマに取り組んでいます。

一見、バラバラのようですが、共通点が2つあります。第1に皆さん“自分の関心”的高いテーマに取り組んでいることです。ラクなテーマに流されずに自分の関心を貫くことは、なかなか第2に多くの人々の視点を研究に取り入れていてことです。既存の文献のみならず、イ

情報システム学科 小宮山 智志 準教授



多様な価値観で人々の行動の謎を解明

ゼミ生の卒業研究テーマ

女性が将来性に惹かれて交際する男性は女性に尽くさない?

4年・熊谷 太陽

交際しているカップルは相手のどのような点に惹かれたのか(交際理由)、交際後、どのような関係を築いているのか(恋愛観)を研究しています。

カップルを対象にアンケート調査を実施し、そこから得たデータを因子分析して、交際理由を5タイプに分類しました。そして、この5タイプと恋人との関係を掛け合わせて分析しました。その結果、交際理由がその後の恋愛に少なからず影響を与えていたことが明らかになりました。例えば、女性が男性の将来性に惹かれて交際した場合、その男性は女性に対し「尽くさないタイプ」であることが分かりました。この研究が進むことで、構築したい関係にマッチした相手を選ぶことができるようになる、かもしれません。

ンタビューやアンケート、ワークショップなどを駆使して、自分の価値観、視点にのみとらわれることなく、データ・根拠を集め、研究に取り組んでいます。4年生にこの研究室で学んだことを質問しました。てつくり調査・分析手法や、論文を読むことといった回答が返つてくると思いつか、「数人で考えるとあつという間にアイデアが生まれる」という答えが返つてきました。異なる価値観・視点に触れることでアイデアが生まれることを実感してくれているようです。他者と協力することの有効性感覚を持つことは、科学、そして民主主義の基本ではないでしょうか。

学生たちは3年の時に、ワールドカップのパブリックビューイングを自分たちで実現し、また地域の祭りでは、地産地消の屋台を出店することで多くの人々と触れ合い、勉強させていただきました。自分の関心を大切にし、しかし他者の価値観を尊重し、視点に耳を傾け、議論を通して、新しいものを創り上げていく、学生たちは私の想定以上に成長を遂げてくれました。一重に地域の皆さまのご尽力と、学生たちのたくましい好奇心の賜物かと存じます。

学生と議員がグループ学習



教授 越智 敏夫

新潟市議会の議会報告会(新潟中央キャンパス)

本学の学生と市議によるグループ学習という形式の、新潟市議会の議会報告会(中央区)が11月28日、本学の新潟中央キャンパス「コワーキング・ラボこくじょう」で開催されました。市議による一方的な活動報告ではない会で、実際はこの方法は昨年、議会報告会がはじめて本学で開催されたときに試されたものです。昨年は非常に活発な議論となつたことから、今年度も同方式での開催となりました。テーマはB.R.T.、少子化問題、産業振興など、すべて現在の新潟市にとって重要なものがばかりでした。議員と学生との間で熱い討論が展開され、その内容がすぐにグループ別に報告されました。

選挙権が18歳まで拡大するなか、本学学生がこのように市議会議員と討論すること自覚も深まつたはずです。また一方で、議員の皆さんも市民の政治意識の幅の広さを再発見されたようでした。

(国際文化学科・

教員の活動(本人申告による)

(University of Vienna, Austria)

區 建英(国際文化学科・教授)

- (2015年9月1日～9月2日)「孫文の民権主義の実践と創造」、国際学術シンポジウム「儒学の道統と民主共和」(台湾師範大学、台湾)
- (2015年10月23日～10月25日)「孫文の民族主義の実践と創造」、国際学術シンポジウム「近代文化と近代中国」(北京師範大学、中華人民共和国)
- (2015年11月11日～11月13日)「孫文の民族主義と大アジア主義」、国際学術シンポジウム「伝承と創新：紀念孫中山誕生150周年」(國父紀念館・台湾大学、台湾)

神長 英輔(国際文化学科・准教授)

- (2015年7月12日)「露領漁業から北洋漁業へ デンバー商会の盛衰」中国四国歴史学地理学協会2015年大会(広島大学)
- (2015年10月3日)「コンフから考えるロシア極東史」来日ロシア人研究会例会(青山学院大学)
- (2015年7月4日)「外交と北洋漁業と自治体外交」2015年度にいがた市民大学 新潟学コース(大学コンソーシアム連携講座) 新潟150年史：その世界史的位置(クロスバルにいがた)

1)研究論文・図書

臼井 陽一郎(国際文化学科・教授)

- (2015年)「EUのマルチレベル・ガバナンス論—その統合理論としての意義の再考」『国際政治』182号(16-29頁)

小林 元裕(国際文化学科・教授)

- (2015年)吉田裕 他「阿片政策、有田・クレギー会談等12項目を執筆」『アジア・太平洋戦争辞典』

2)学会・研究会・講演等

安藤 潤(国際文化学科・准教授)

- (2015年9月11日)「日本の夫婦の家事・育児分担とワーク・ライフ・バランス」にいがた市民大学「仕事を生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)をとるために」(クロスバルにいがた)
- (2015年10月8日)「Identity Economics and Housework Behavior of Wives of Dual-Earner Couples: Empirical Analysis Using JPSC 2000-2008 Panel Data」, Department of East Asia

2研究室の展示に人気

福祉・介護・健康フェア2015

過去最高の1万5,000人が来場

河原研究室では、ブース展示およびセミナー講演を行いました。昨年は「みまもり口ボット」「CGによる手話学習ソフト」「視覚のシミュレーション」の3つの内容を展示了しましたが、今年はその中から「視覚の異常な見え方など体験」とができます。しかし、視力が良い人や色覚に障がいがない人は、そうでない場合を体験することは難しいです。今回も作成しました。体験していくうちに、自分ができないようなPCによるシミュレーションソフトを開発しました。PCに接続したものです。もともとは、色覚に障がいがある人の見え方や、視力が悪い人の見え方を画像処理でシミュレーションに絞つて発表しました。

河原研究室では、ブース展示およびセミナー講演を行いました。昨年は「みまもり口ボット」「CGによる手話学習ソフト」「視覚のシミュレーション」の3つの内容を展示了しましたが、今年はその中から「視覚の異常な見え方など体験」とができます。しかし、視力が良い人や色覚に障がいがない人は、そうでない場合を体験することは難しいです。今回も作成しました。体験していくうちに、自分ができないようなPCによるシミュレーションソフトを開発しました。PCに接続したものです。もともとは、色覚に障がいがある人の見え方や、視力が悪い人の見え方を画像処理でシミュレーションに絞つて発表しました。

色覚の異常な見え方など体験 福祉関係者から有意義な感想

「視覚のシミュレーション」

「福祉・介護・健康フェア2015」（11月15日・朱鷺メッセ）に、本学から情報システム学科の高木、河原両研究室が前年に引き続き出展しました。当時は145企業の団体が参加し、過去最高の約1万5000人が来場して大いににぎわい、両研究室のユニークな内容のブースにも多くの人が訪れました。

河原研究室では、ブース展示およびセミナー講演を行いました。昨年は「みまもり口ボット」「CGによる手話学習ソフト」「視覚のシミュレーション」の3つの内容を展示了しましたが、今年はその中から「視覚のシミュレーション」とができます。しかし、視力が良い人や色覚に障がいがない人は、そうでない場合を体験することは難しいです。今回も作成しました。体験していくうちに、自分ができないようなPCによるシミュレーションソフトを開発しました。PCに接続したものです。もともとは、色覚に障がいがある人の見え方や、視力が悪い人の見え方を画像処理でシミュレーションに絞つて発表しました。

河原研究室では、ブース展示およびセミナー講演を行いました。昨年は「みまもり口ボット」「CGによる手話学習ソフト」「視覚のシミュレーション」の3つの内容を展示了しましたが、今年はその中から「視覚のシミュレーション」とができます。しかし、視力が良い人や色覚に障がいがない人は、そうでない場合を体験することは難しいです。今回も作成しました。体験していくうちに、自分ができないようなPCによるシミュレーションソフトを開発しました。PCに接続したものです。もともとは、色覚に障がいがある人の見え方や、視力が悪い人の見え方を画像処理でシミュレーションに絞つて発表しました。

河原研究室では、ブース展示およびセミナー講演を行いました。昨年は「みまもり口ボット」「CGによる手話学習ソフト」「視覚のシミュレーション」の3つの内容を展示了しましたが、今年はその中から「視覚のシミュレーション」とができます。しかし、視力が良い人や色覚に障がいがない人は、そうでない場合を体験することは難しいです。今回も作成しました。体験していくうちに、自分ができないようなPCによるシミュレーションソフトを開発しました。PCに接続したものです。もともとは、色覚に障がいがある人の見え方や、視力が悪い人の見え方を画像処理でシミュレーションに絞つて発表しました。

河原研究室では、ブース展示およびセミナー講演を行いました。昨年は「みまもり口ボット」「CGによる手話学習ソフト」「視覚のシミュレーション」の3つの内容を展示了しましたが、今年はその中から「視覚のシミュレーション」とができます。しかし、視力が良い人や色覚に障がいがない人は、そうでない場合を体験することは難しいです。今回も作成しました。体験していくうちに、自分ができないようなPCによるシミュレーションソフトを開発しました。PCに接続したものです。もともとは、色覚に障がいがある人の見え方や、視力が悪い人の見え方を画像処理でシミュレーションに絞つて発表しました。

「秤が無くても使える栄養計算DB」

前年に引き続き、本学卒業生の増野里江子さん（2002年度卒・現株ソネット）が作成した栄養計算データベース（DB）を紹介するブース

を出展しました。ブースを訪れた人に、自分で食べた朝食で実際の使用方法を体験していただき、前年よりも多くの方々に大きな関心を持っていただきました。年

で、今回は操作方法と、計算結果の利用に関する説明に焦点を当てた説明としました。計算結果に栄養バランスをグラフで表示できる機能を追加したことでもあって、分かりや

容をできるだけ正確に紹介したところ、難しいとの評価でした。そこで、今回も操作方法と、計算結果に栄養バランスをグラフで表示できる機能を追加したことでもあって、分かりやすさを確認できたので、説明や利用努力を今後も続けたいと思います。

新潟地域からの利用を促進する努力を今後も続けたいと思います。

（情報システム学科 教授 高木 義和）



湧源

編集後記に代えて

入試・広報委員長 小宮山 智志

本学の師走は、卒業研究の締め切り月です。学内のPCの前では、真剣な顔つきで論文を執筆している多くの学生たちの姿を見ることがあります。卒業研究は、学生が自分でテーマを選び、4年間の集大成として、新しい知識を創造します。

本学では、両学部ともに卒業論文が必修です。つまり、全員が卒業論文を執筆します。今の日本で、全学部の全員が卒業論文を執筆する大学がどれほどあるでしょうか。これは本学が誇る点の一つだと考えています。卒業論文は、1年以上かけて多くの文献を読み、調査・実験し、分析し、そして考え方抜き、執筆します。論文で求められる高いオリジナリティーや、根拠に基づいた議論は、彼らが生きる情報化・国際化がさらに進んだ“これからの中”では、より重要性が増すでしょう。さらに、3年生までの数週間のレポートと違い、計画性、そしてなにより自己を律する克己心が求められます。卒業後、教員はいません。一人で歩んでいく旅立ちのイニシエーションです。

今日、私は東京に出張なのですが、ゼミのLINEを見ると、お互いに草稿をチエックし合っているようです。もう、私の出番はなさそうです。これからは教員・学生の関係ではなく、お互いに地域人・地球市民として、共に新潟に、世界に貢献していこう。今日も、情報文化の発展と世界平和の実現を確信することができた幸せな一日でした。



263社が参加し企業懇談会

企業、団体の代表者や採用担当者と本学教職員が情報交換する企業懇談会が11月18日、ANAクラウンプラザホテル新潟で開催されました。20回目の今年度は263社、385人の皆さんに参加いたしました。恒例の講演会には荒俣宏氏（作家・博物学者）・武蔵野美術大学客員教授を迎えて「自分を磨く・好奇心を楽しむ」と題し講演していただきました。

就職近況を説明、協力に感謝

した2学部制が一定の成果を上げ、さらに大学の魅力をいっそう高め地域に役立ち必要とされる人材教育に努めたいと話し、採用活動に協力いただいてる企業の関係者に感謝の意を表しました。講演会では荒俣氏がその博学ぶりを披露して広範な話題が尽きず、皆さん時間を忘れ聴き入つていただきました。

懇親会では和やかに情報交換などが繰り広げられ、小林満男就職指導委員長（情報システム学科教授）ら教職員が

異例の日程変更でも情報交換

就職状況の近況を説明しました。今年度の就職活動は会社説明会など採用情報の解禁が3月、面接など選考開始が8月に変更となつて短期決戦で実施されたばかりでしたが、来年度は会社説明会の3月はそのまま変えずに、採用選考の解禁日を2カ月前倒して6月とする、2年連続の異例的なスケジュール変更についても話題となり、混乱を招くとのないよう、より密接な情報交換を確認し合いました。



「青少年のための科学の祭典」に1万人



光通信の演出に歓声

スピーカーからその音楽が聞こえると、参加者から歓声が上がりました。さらに、光ファイバーでLEDと受信機のフォトトランジスタを結ぶと、スマホからの音楽がスピーカーから流れ、実際の光通信がこのように行われていることを学びました。

情報文化学科恒例の卒業論文
文中間発表会が11月7日、本校
(みずき野キャンパス)で開催されました。全4年生が
卒論の基本的なアイデアや構成を中間報告という形で発表
する機会です。

この研究発表によって論文
の構想を整理し、会場からの
質問やコメントに応答するな
かで、より良い完成稿に向
て軌道修正することが期待さ
れています。教員も当日は全
会場に分散して発表を聞き、



恒例の卒論中間発表会

情報文化学科

研究論文に完璧な完成度というものはありません。しかし、このように情報文化学科が1日をかけて開催した研究発表によって、各論文の完成度は間違いなく向上していると信じます。

した。
この発表会には3年生によつて全て運営されるという特徴もあります。124人の発表をテーマ別に10教室に分け、各教室では司会、タイムキーパーなど4人の運営委員が研究発表の進行を担当します。当日使用するプログラムの作成や、パワーポイントなどのための機材設置も含めた会場設営も運営委員によつて行われます。今年度は総勢52人の3年生が運営委員を務め、開会式、閉会式も正・副の運営委員長が司会を担当しました。

納祭を終えて

実行委員長 新村 蓮(情報システム学科3年)

協力すること…大切なことを学ぶ

が無事終了しました。11日には雨と強風の荒天となり、途中から幾つかテントを置まなければならぬいアクシデントはありましたが、大きながもなく、ほつと一安心しております。

今年度も多くの模擬店が並び、イベントが繰り広げられ、多くの皆さんにご来場いただき、ヤンバスが活気に満ちました。10日には、西区大農業まつりを合同開催させていただきました。朝から多くの方々にご来場いただき、泥付き大根3千本、金りと豚汁も完売などと大変なぎわいでした。ご協力いただき、JA・西区役所の方々には大変お世話になりました。

そして、父母会・みづき会の後援で開催された文化講演会では、漫画家・俳優の蛭子能収氏をお招きしていただきました。生い立ちや現在人気となるまでの人生を語り1時間ほど質問コーナーとなりましたが、会場から終始笑声が聞こえる非常に樂しい講演となりました。

2年間実行委員長を務めさせていただきましたが、やはり人

イベントやプロンはうまく立ち行かないということを感じました。お互に欠点を埋めるのが気遣いながら、そのイベントは良い方向へと向かうでしょう。非常に大切なことを学べたと思います。

平成28年度 一般入試日程

※出願期間内消印有効。

入試区分	募集人員	出願期間	試験日/試験場	試験実施教科・科目	合格者発表日	入学手続期間
前 期	情報文化学部 情報システム学科 国際学部 国際文化学科	65 35	1月 5日(火) ~ 1月22日(金)	2月 2日(火) 新潟 越後 上長 岡 新発田	【国語】 国語総合(現代文)・現代文B 【数学】 数学I・数学A※全範囲から出題 【外国語】 コミュニケーション英語I・II・III 英語表現I・II	2月 8日(月) ~ 2月19日(金)
後 期	情報文化学部 情報システム学科 国際学部 国際文化学科	10 10	2月24日(水) ~ 3月 8日(火)	3月14日(月) 新潟	上記3教科の中から 2教科以上を選択、3教科 受験した場合は高得点の 2教科を合否判定に使用	3月17日(木) ~ 3月24日(木)
大学入試 センター 試験利用	情報文化学部 情報システム学科 国際学部 国際文化学科	10 10	1月25日(月) ~ 2月12日(金)	平成28年1月 16日(火)、17日(水) の 大学入試 センター試験を 受験していること	各学部の利用教科・科目の 中から2科目以上選択 3科目以上受験した場合は 高得点の2科目を 合否判定に使用	2月22日(月) ~ 3月 4日(金)

募集
学部

情報文化学部/情報システム学科
国際学部/国際文化学科



入試のポイント

一般入試(前期・後期)で第2志願制を導入!!

第1志望の学部が合格にならなかった場合には第2志望の学部で合否判定を行います。

一般入試(前期)で学費給付奨学生を採用!!

一般入試(前期)の試験結果から、成績上位者に、年間授業料の半額を給付します。奨学生試験を受ける必要も、事前に申請する必要もありません。※進級年度ごとに審査あります。

給付額	給付対象
年間 授業料の 半額	情報文化学部 情報システム学科 5番以内
	国際学部 国際文化学科 3番以内

※詳細は「平成28年度学生募集要項」または
本学ウェブサイト(<http://www.nujs.ac.jp/>)でご確認ください。

本学・新潟日報 連携講座「異文化塾」



いまイスラームの世界を読み解く

本学と新潟日報による異文化塾では、激動する中東情勢について暴力の連鎖に目を奪われるごとなく、イスラーム世界の現状を理解する道を探ります。

第1回(11月14日)は、黒田壽郎氏(国際大学名誉教授)による「イスラーム世界の歴史と文明」と題する講演が行われました。1400年の歴史を持つイスラームは、長い歴史の過程で多く地域に広がっています。しかし、「オリエンタル」といわれれる欧米によります。

青柳かおる氏(新潟大学)は、松本ますみ氏(室蘭工業大学)は

情報文化学科 1997年度卒業 森本 恵理子

卒業生の便り

今年の5月から小千谷市で市議会議員として活動させていたり、また子どもたちをめぐる環境づくりを中心としております。親世代となり、子どもたちを責任を持って育てていく義務があると感じています。また、おじいちゃんおばあちゃん世代の架け橋でもある、社会的にも重要な世代になつてきました。

私は今、故郷に住む人たちの笑顔を少しでも増やす、ということを掲げ、走り始めたところです。どんなにつらい場面や予測できない状況に出会っても、一緒に貴重な体験をすることがでござります。2児の母として、子どもたちを育てやすくて、子供たちをめぐる環境づくりで、仲間と出会い、自由を謳歌しながらも、その自由には全て責任がつきまとうことになりました。

市議会議員となつた1期生



故郷の人たちに笑顔を

はできたばかりで、1期生として教員の方々と、そして仲間と、サークルや大学のカラーを1から上げてきました。また、初めて親元を離れての一人暮らしを経験する中で、仲間と出会い、自由を謳歌しながら頑張りました。

私は今、故郷に住む人たちの笑顔を少しでも増やす、ということを掲げ、走り始めたところです。どんなにつらい場面や予測できない状況に出会っても、一緒に貴重な体験をすることがでござります。2児の母として、子どもたちを育てやすくて、子供たちをめぐる環境づくりで、仲間と出会い、自由を謳歌しながら頑張りました。

歴史と文明の眞実、実体を明らかに

(国際文化学科)
教授 小山田 紀子

准教授による「イスラーム教徒の日常生活」。ヨーロッパの植民地主義の視点から、現在約16億人のイスラーム世界とされるイスラーム世界に対しても、変化が起つたのかな、また同氏が在日30年の間で、興味深いお話を聞けた。イスラームがどのような問題を抱えているのか、またイスラーム女性がアラビア語を草の根の学校で学んだり、イスラームやアラビア語を訳や伝教師として活躍する様子が紹介されます。

第4回(2月13日)は、ヨーデリ氏(アンヌ・ルモスク新潟前会長)が「在日ムスリムの生き方」について講演。日本のように非イスラーム国に住むムスリムがどのような問題を抱えているのか、またイスラーム女性がアラビア語を訳や伝教師として活躍する様子が紹介されます。